

- 問1 室町時代の農村において、農民たちが自治を行う際、重要な事項を決定するために開いた会議と、そこで定められた独自のルールの組み合わせとして正しいものはどれか。(2023年 大阪公立入試 類似)
1. 寄合 - 村掟
 2. 評議 - 式目
 3. 座談 - 法度
 4. 合議 - 定書
- 問2 12世紀から15世紀にかけて起きた日本の主要な戦乱について、発生した時期の早いものから順に正しく並べたものはどれですか。(2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 源頼朝による平氏打倒の挙兵 → 南北朝の動乱 → 応仁の乱
 2. 南北朝の動乱 → 源頼朝による平氏打倒の挙兵 → 応仁の乱
 3. 源頼朝による平氏打倒の挙兵 → 応仁の乱 → 南北朝の動乱
 4. 応仁の乱 → 南北朝の動乱 → 源頼朝による平氏打倒の挙兵
- 問3 1467年から始まった応仁の乱において、直接的な対立の構図となった有力な守護大名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。(2017年 奈良公立入試 類似)
1. 細川氏と山名氏
 2. 平氏と源氏
 3. 北条氏と足利氏
 4. 武田氏と上杉氏
- 問4 室町時代に明との間で行われた貿易において、貿易船が「勘合」と呼ばれる札を持参した最大の目的は何ですか。(2023年 岡山公立入試 類似)
1. 正式な貿易船と、沿岸部で略奪を行う倭寇を区別するため。
 2. 輸出品である刀や銅の数量を、明の税関に正確に報告するため。
 3. キリスト教徒ではないことを証明し、仏教徒のみが貿易できることを保証するため。
 4. 貿易による利益を幕府だけでなく、朝廷にも分配することを証明するため。
- 問5 室町時代における政治的混乱と社会の変遷について述べた文として、歴史的事実の順序が正しいものはどれか。(2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 足利義満が南北朝の統一を成し遂げた後、將軍の跡継ぎ問題などを背景に応仁の乱が起こり、実力のある者が上位の者を倒す下剋上の風潮の中で戦国大名が登場した。
 2. 応仁の乱によって幕府の権威が失墜したことを受けて、足利義満が南北朝の統一を行うことで混乱を収束させ、その後有力な守護が大名として各地を支配した。
 3. 各地で戦国大名による領国支配が進む中で、その対立を解消するために足利尊氏が南北朝の統一を宣言したが、直後に応仁の乱が発生して幕府は滅亡した。
 4. 鎌倉幕府を倒した直後の応仁の乱によって社会が混乱したが、足利義満がこの乱を鎮圧して南北朝の統一を達成し、戦国大名の出現を未然に防いだ。
- 問6 足利義満によって本格化した日明貿易において、明から日本側へ与えられた「勘合」を用いた貿易の形式と背景について述べた文として、正しいものはどれですか。(2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 日本国王として明の皇帝に臣下の札をとり、貢ぎ物を捧げる「朝貢貿易」の形式であった。
 2. 日本の朝廷が主体となり、明の皇帝と対等な立場で経済的利益のみを追求した。
 3. 長崎の出島において、オランダ船と同様に厳しい制限下で行われた直接貿易であった。
 4. 幕府が発行した「御朱印状」を携帯することで、東南アジア各地の港へ入港を許可された。
- 問7 北山文化を代表する建築物である金閣（鹿苑寺舍利殿）の構造について、当時の文化的背景を説明したものと適切な記述を選択してください。(2022年 香川公立入試 類似)
1. 寝殿造という公家好みの様式と、禅宗様という武士が帰依した宗教の様式が融合した構造となっている。
 2. 書院造という質素な武家の住居様式に、茶の湯の精神を取り入れた「わび・さび」を象徴する構造となっている。
 3. 法隆寺などの古代建築に倣い、大陸の唐風文化の影響のみを強く受けた仏殿の構造となっている。
 4. 城郭建築の天守閣のような威容を持ち、南蛮文化の影響を受けた豪華絢爛な装飾が施されている。
- 問8 室町幕府が土倉や酒屋に対して「土倉役」や「酒屋役」といった税を課し、その営業を保護した理由として、当時の政治・経済の仕組みから見て正しい説明はどれですか。(2026年 山口公立入試 類似)
1. 有力な業者から税を徴収することで、幕府の重要な財源とするため
 2. 中国から輸入された貨幣が偽造されるのを防ぎ、流通量を厳密に管理させるため
 3. 農村の困窮を救う目的で、幕府が指定した低金利での貸付を全国で強制するため
 4. 問屋制家内工業を全国に広め、輸出用の工芸品を幕府の管理下で大量生産させるため
- 問9 室町時代、近畿地方（畿内）を中心に「惣」と呼ばれる自治組織を結成した農民たちは、団結して「土一揆」を起こしました。この一揆において、農民たちが借金（銭消し）を求めて襲撃した、当時高利貸しを営んでいた主な業者の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2021年 香川公立入試 類似)
1. 土倉・酒屋
 2. 問丸・座
 3. 関所・問屋
 4. 馬借・運送業者
- 問10 15世紀に尚氏によって沖縄本島が統一されて成立した琉球王国は、日本、中国、東南アジアを結ぶ地理的条件を活かした貿易で繁栄しました。各地の産物を仕入れ、それを別の地域へ売りさばくことで利益を得たこの貿易の仕組みを何とといいますか。(2024年 島根公立入試 類似)
1. 中継貿易
 2. 勘合貿易
 3. 朝貢貿易
 4. 朱印船貿易
- 問11 中世の日本において、商人や手工業者が公家や寺社などの権力者に税を納める代わりに、営業の独占権や保護を受けるために結成した同業者団体を何とといいますか。(2021年 岐阜公立入試 類似)
1. 座
 2. 株仲間
 3. 惣
 4. 問屋
- 問12 源頼朝が鎌倉幕府を開き、その後に北条氏による執権政治が続いた日本の歴史において、一度幕府が滅亡し、足利尊氏が京都で新たな幕府を開くまでの間に一時的に行われた政治体制について、その中心人物と名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2023年 奈良公立入試 類似)
1. 後醍醐天皇 - 建武の新政
 2. 白河上皇 - 院政
 3. 藤原道長 - 摂関政治
 4. 徳川家康 - 江戸幕府
- 問13 室町幕府の第8代將軍であり、自身の後継ぎ問題をきっかけの一つとして1467年に応仁の乱が起こった時の將軍は誰か。彼は京都の東山に銀閣を建て、書院造などに代表される文化を栄えさせたことでも知られる。(2024年 歴史公立入試 類似)
1. 足利尊氏
 2. 足利義満
 3. 足利義政
 4. 足利義昭

答え合わせ・解説

問1	答え 1 寄合 - 村掟	惣の運営では、有力な農民たちが「寄合」と呼ばれる会議を開いて意思決定を行いました。ここでは、入会地の利用規則や祭礼の運営、犯罪の処罰など、村の秩序を維持するための「村掟（むらおきて）」が定められました。これにより、農民たちは領主に対抗して年貢の減免を求める強訴（ごうそ）などを行う団結力を備えるようになりました。
問2	答え 1 源頼朝による平氏打倒の挙兵 → 南北朝の動乱 → 応仁の乱	源頼朝が平氏に対して挙兵したのは12世紀末の平安時代末期であり、この後に鎌倉幕府が成立しました。南北朝の動乱は14世紀、鎌倉幕府滅亡後の後醍醐天皇と足利尊氏の対立から始まり、約60年間続きました。応仁の乱は15世紀後半、室町幕府の衰退期に発生した戦乱であり、この順序が歴史的な推移として正確です。
問3	答え 1 細川氏と山名氏	室町幕府の管領家であった細川氏と、山陰地方を中心に大きな勢力を誇った山名氏が、将軍家や守護大名の家督争いに介入する形で対立しました。全国の守護大名がこれら二氏のどちらかに加勢して東軍と西軍に分かれたため、戦乱は長期化し、全国的な動乱へと発展しました。
問4	答え 1 正式な貿易船と、沿岸部で略奪を行う倭寇を区別するため。	明との貿易は「勘合貿易」と呼ばれますが、これは「勘合」という紙の札を照合させたことに由来します。当時、正式な許可を得ずに活動する海賊（倭寇）との区別が困難であったため、半分に割った札の片方を明側、もう片方を日本側が持ち、入港時にそれを合わせることで正規の船であることを証明しました。
問5	答え 1 足利義満が南北朝の統一を成し遂げた後、將軍の跡継ぎ問題などを背景に応仁の乱が起こり、実力のある者が上位の者を倒す下剋上の風潮の中で戦国大名が登場した。	室町幕府の三代将軍である足利義満は、1392年に南北朝の合一（統一）を実現し、幕府の全盛期を築きました。しかし、1467年に始まった応仁の乱により幕府の権威は大きく衰退しました。この乱をきっかけに、実力で主君を倒す「下剋上」の動きが加速し、それまでの守護大名に代わって、自らの力で領国を支配する戦国大名が各地で台頭する戦国時代へと移行していきました。
問6	答え 1 日本国王として明の皇帝に臣下の札をとり、貢ぎ物を捧げる「朝貢貿易」の形式であった。	日明貿易は、室町幕府の将軍（足利義満など）が明の皇帝から「日本国王」に封じられ、皇帝に対して貢ぎ物を届ける「朝貢（ちょうこう）」という外交形式をとっていました。勘合は明から日本側に交付され、日本側がこれを持参して明の港で照合を行いました。江戸時代初期に行われた「御朱印船貿易」は日本側（幕府）が許可証を発行する仕組みであり、勘合貿易とは発行主体や時代が異なります。
問7	答え 1 寝殿造という公家好みの様式と、禅宗様という武士が帰依した宗教の様式が融合した構造となっている。	金閣は、一階が平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造、三階が禅宗の寺院様式で造られており、建物全体に金箔が貼られています。これは足利義満が公家と武家の双方を統制する権力者であったことを象徴しており、北山文化の「融合」という特徴を如実に表しています。足利義政が推進した東山文化の質素な書院造とは対照的な性格を持ちます。
問8	答え 1 有力な業者から税を徴収することで、幕府の重要な財源とするため	室町幕府は、直轄領からの収入だけでは不十分であったため、京都などの都市で経済力を持っていた土倉や酒屋に課税しました。幕府は彼らに営業の独占権や保護を与える見返りとして、継続的に税（役）を徴収し、これを幕府運営の重要な財源としました。
問9	答え 1 土倉・酒屋	室町時代、貨幣経済の浸透に伴い、質屋を営む「土倉」や、醸造業の傍ら高利貸しを行っていた「酒屋」から借金をする農民が増えました。生活が困窮すると、農民たちは自治組織である「惣」の結束力を利用して団結し、これらの業者を襲撃して借金の証文を破棄させるなどの実力行使に及びました。
問10	答え 1 中継貿易	琉球王国は、明（中国）への朝貢を行いながら、東南アジアの香辛料や染料、日本の刀剣や工芸品などを各地で転売する役割を担いました。このように、産物を別の地域へ仲介して販売する貿易の形態を中継貿易と呼びます。当時の東アジアにおいて、琉球はまさに物流のハブ（拠点）としての役割を果たしていました。
問11	答え 1 座	平安時代から室町時代にかけて発達した、商工業者の組織についてです。特定の公家や寺社（本所）と結びつくことで、市場での独占販売権や、交通の要所に設置された関所の通行税免除といった特権を得ていました。江戸時代に幕府から営業の独占を認められた「株仲間」とは、時代背景や保護者が異なる点に注意が必要です。
問12	答え 1 後醍醐天皇 — 建武の新政	源氏による幕府、北条氏による執権政治という武家政権の流れが一時的に途切れた際、政治の実権を取り戻したのが後醍醐天皇です。彼は公家を重用した建武の新政を行いました。土地の権利をめぐる混乱などから武士の支持を失い、後に足利尊氏によって京都を追われることとなります。
問13	答え 3 足利義政	第8代将軍足利義政の時代には、簡素で気品のある東山文化が栄えた。しかし、政治面では彼自身の後継者争いが畠山氏や斯波氏の家督争いと結びつき、全国の守護大名を巻き込む応仁の乱へと発展した。なお、足利尊氏は初代将軍、足利義満は金閣を建てた3代将軍である。